

経済・雇用部会における重点戦略のテーマ設定(案)

1 現状認識と今後の主な課題について

(1) 経済情勢や産業構造

札幌市の産業構造は、第2次産業の割合が低く、第3次産業が中心という構造であり、全国や北海道の景気の変動に左右されやすく、全国の大都市に比べても経済・産業基盤は脆弱であるといえる。これまで、札幌市経済は、主に人口の増加に伴う卸売業、小売業やサービス業を中心にした第3次産業と、国からの重点的な公共事業の配分により成長を遂げてきたが、人口が減少局面に突入し、国からの公共事業も大幅に削減される中で、これまでどおりの経済成長のスタイルを続けることは困難となっている。今後、札幌市も人口減少社会に突入することが見込まれる中で、新たな付加価値の高い産業を振興し、足腰の強い経済基盤を作り、人々の働く場を創出していくことが極めて重要な課題となっている。

(2) 創造的活動の展開

札幌は歴史の新しい都市であり、進取の気風にあふれた開放的な市民気質を背景に様々な創造的な活動が行われてきた。特に、芸術文化の分野においては、札幌芸術の森、札幌コンサートホール Kitara、モエレ沼公園といった施設整備や、世界的な国際教育音楽祭である PMF の開催など、創造的かつ先進的な取組を進めてきたところであり、それらの取組が評価されて平成 20 年には文化庁長官から「文化芸術創造都市部門」で表彰を受けている。このような土壌がある中で、今後の札幌市のまちづくりにおいては、市民が意欲と活力を持って様々な場面で創造性を発揮できる環境を整えることで、そこで生み出された新たな知恵を、新しい文化や産業の創出に結び付けていくという視点が重要である。

(3) グローバル化の急速な進展

1990 年代以降、グローバル化が急速に進展し、国家間、地域間、企業間の国際的な競争が激しさを増しているなかで、経済のグローバル化への対応が都市レベルでも求められる時代になっている。また、中国をはじめとする東アジア地域は、世界的な生産拠点を築くことで目覚ましい経済成長を遂げており、札幌市においても東アジア地域からの観光客が増加している。今後、札幌市が、国際的な都市間の競争の中で生き残っていくためには、経済のグローバル化の進展に対応した経済政策を展開していくことが求められており、札幌市が持つ強みを活かしながら、国際的な地域別ターゲットを明確にした戦略的な経済政策の展開が求められている。

2 重点戦略のテーマ選定における視点

- ▶ 新たな経済成長スタイルを見出す際には、人口減少時代の到来や急速な少子高齢化の進展などの社会経済情勢を見据え、札幌の魅力的な地域資源を活かしつつ、今後の需要が高く見込まれる分野において戦略的な産業振興策を検討する必要がある。
- ▶ 厳しい雇用環境を鑑み、足腰の強い産業を育成することにより雇用を確保することが重要である。さらに、札幌市民は創造性を育む機会に恵まれていることから、この創造性を活かし、起業に結びつきやすくするような仕組み作りも必要となる。
- ▶ 札幌市における経済のグローバル化は、さらに加速できる余地があると考えられる。今後、人口減少時代の到来により国内市場が縮小することも考えると、経済のグローバル化に積極的に取り組んでいくことが求められる。

3 重点戦略のテーマ(案)

重点戦略:「都市の活力を高める創造戦略」

(1)テーマ 1「創造性を活かした産業基盤の強化」

市民の創造性をはぐくむこれまでの取り組みを基礎にして、札幌の魅力的な資源の付加価値を高めて経済の活性化につなげていくとともに、次代を担う新たな産業の創出を図る取り組みを進める。

(2)テーマ 2「国際経済戦略の展開」

人口減少社会における国内市場の縮小に対応するため、札幌における経済のグローバル化を加速させるための取り組みを進める。さらに、これまで進められてきた札幌市の国際交流を発展させ、目的を明確に定めた戦略的な都市外交を展開する。